

算数科 小学校 1年

単元名「3つの かずの けいさん」
啓林館 わくわくさんすう1

単元の流れ（全5時間）

【第1時】

主な学習内容

- ・ふえて、ふえる事象を教科書の挿絵を見てお話作りをしながら理解する。
- ・数図ブロックを用いて、増える様子を表し、たし算の式にする。

「知識・技能」を定着させるために

数図ブロックの操作を定着させるために、挿絵を使って、具体的な場面をとらえることを大切にする。

「活用」の力の育成のために

挿絵を見て、お話作りをすることで、自分の言葉で表現する力をつける。

【第2時】

主な学習内容

- ・へって、へる事象を教科書の挿絵を見てお話作りをしながら理解する。
- ・数図ブロックを用いて、減る様子を表し、1つのひき算の式にする。

「知識・技能」を定着させるために

立式の段階で、すぐに一つの式にもっていくのではなく、子ども達に問いかけて、一つの式で簡潔に表現することができることを気付かせ、理解させる。

【第3時】（本時）

主な学習内容

- ・教科書の3枚の絵を見て、「へって、ふえる」の場面をとらえる。
- ・数図ブロックを操作して、場面を1つの式に表し、答えを求める。

【第4時】

主な学習内容

- ・教科書の挿絵を見て、「あわせて、へる」の場面をとらえる。
- ・数図ブロックを操作して、場面を1つの式に表し、答えを求める。

【第5時】

主な学習内容

- ・単元の学習を振り返り、できるようになったことなどを交流する。
- ・評価問題に取り組む。

単元目標

- 3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を理解し、計算する。

単元構成の意図

児童はこれまでに、 $5+3$ や $5-3$ のような2つの数をもとにした加減の計算を学習してきた。本単元は、 $5+3+2$ のように、3つの要素が与えられていて、解決するための四則計算の適応が2回にわたる3要素2段階の問題に初めて出会うことになる。このような問題も、2つの数の場合と同様に、3つの数をもとにして、加法や減法を使って、1つの式にできることを理解させ、計算できるようにすることをねらっている。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 文章問題のイメージを持たせるために、挿絵を見て気付くことを、全体で自由に話し合わせる。
- ② 挿絵を見て、お話作りをすることで、具体的な場面をとらえさせる。
- ③ 活用問題に取り組ませる。



「知識・技能」定着のためのポイント

- ① 数図ブロックの操作を定着させるために、挿絵を使って、具体的な場面をとらえさせることを大切にする。
- ② 挿絵の場面を自分の言葉で文章化することで、演算を決定する言葉に注目させる。
- ③ 計算を確実にするために、 $5+3+2$ の場合、 $5+3$ の下に線を引き、その答えを書き記しておくようにさせる。
- ④ 3つの要素の計算を宿題やドリルプリントで習熟させる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME